

外国人観光客に堺の歴史と文化を紹介する 散策マップ作成プロジェクト



DATA

- 主な連携先・メンバー
堺市文化観光局観光部観光企画課・観光推進課
- 活動地域
大阪府堺市
- 活動期間
2019年度～継続中
- 活動資金
堺市と関西大学との地域連携事業

活動の目的

- 1 学生が堺市の観光担当職員や観光関連事業者などと連携し、実体験を取り入れた学習を通じて、大阪府の基幹産業である観光への知識と理解を深めながら英語運用能力の向上を図る
- 2 堺市の観光の魅力を、増加し続ける外国人観光客に発信することで、回遊性を高めて経済効果に繋げる



連携にいたる経緯

堺市には各観光施設の個別の英語パンフレットは存在するものの、堺市の名所を一日で巡ることに特化して紹介するツールは存在していなかったため、食や文化を楽しみながら一日で堺市の魅力を体感できるスポットを紹介する英語版パンフレット・ガイド動画を作成することとなった。

活動内容

まず、国内外の魅力的なマップをリサーチしたうえで「外国人観光客が喜ぶ観光マップ」の理想像を議論。そして、外国人観光客や留学生へのアンケート調査を通じたニーズの把握、および現地ガイドへの取材を通じた地域ならではの通な情報を収集し、日本語版パンフレットを作成。より外国人観光客の利便性を高めるために、紙面だけでは伝えきれない部分(チンチン電車の乗り方、レンタサイクルの使用方法など)は、学生自らが出演する英語版のガイド動画を制作し、パンフレット内に二次元バーコードで埋め込んだ。その後、英語への翻訳作業を行い「EAST ～古墳の魅力編～」 「WEST ～チンチン電車で巡る伝統産業都市編～」の2種類が完成した。

活動の成果

- 1 関西国際空港や大阪市内の観光案内所等に合計各5,000部配架することができた
- 2 堺市を訪れる外国人観光客の滞在時間と消費を高め、堺市内の経済効果を高めることが期待できる
- 3 堺市外での観光キャンペーンなどにパンフレットを使用することで、堺市を訪れるリピーターの増加が期待できる

今後の課題・目標

- 1 現状では、堺市の観光施設や民間事業者が提供している体験メニューの多くが日本語のみの対応で外国人観光客を受け入れられる体制になっていなかったため、それらをほとんど盛り込むことができなかった
- 2 堺市の食と伝統産業を代表する和菓子および刃物事業者の協力を得て、各事業所が提供している体験メニューの多言語支援を行い、外国人観光客の受け入れ態勢を改善することを目指す

教員紹介



■ 外国語学部 教授

井上 典子
Noriko Inoue

大阪府生まれ、兵庫県育ち。2018年4月に本学着任。専門分野は、中英語・英文学(14世紀頃の英語と文学)。

特に、頭韻を特徴とする頭韻詩の韻律構造に興味があり、韻律(リズム・音)がどのように詩の意味と関わっているかを研究している。